

## 2023年度学校法人幾徳学園事業計画

### 1. 大学運営方針

#### 1-1 理念・目的

- (1) 大学・学部・研究科の理念・目的を定期的・体系的に検証する仕組み（外部動向の理念・目的と中長期方針への反映）
- (2) 長中期計画をベースにした各部門の具体的事業計画への展開

#### 1-2 内部質保証

- (1) 内部質保証システムの運用と適切性の継続的な検証と改善
- (2) 内部質保証システムを有効に機能させるためのPDCAサイクルの点検と評価、改善
- (3) 自己評価委員会の運用・点検・改善
- (4) 内部質保証委員会および自己評価委員会と関連委員会の連携機能強化の点検
- (5) 大学ポートレートの内容充実を通じた情報公開の継続的な推進

#### 1-3 3つのポリシーに基づく教育の質保証と向上（教学マネジメントの強化）

- (1) 現行の3つのポリシーの点検・見直し、アセスメントポリシーの導入
- (2) 3つのポリシー運営委員会によるポリシー運用実効化の推進
- (3) 3つのポリシーに基づく教育の質保証PDCAサイクルの点検と改善
- (4) 3つのポリシーに基づく教育の質保証評価結果の外部公表の検討

#### 1-4 大学運営のDX化推進

- (1) 大学全体のDX化の推進計画の策定とDX推進会議の運営
- (2) 各部門のDX化推進と部門間の連携

### 2. 教育

#### 2-1 教育改革推進

- (1) 全学的な教育改革の着実な推進（時代変化への対応、学生本位、質保証を核とした教育の実現を目的とする）
- (2) 教育改革推進会議による計画進捗状況の評価・改善
- (3) オンライン教育の活用、教育システムのデジタル化の推進
- (4) 教育改革状況の広報（ステークホルダ等に向けて）

#### 2-2 教員・教員組織

- (1) 新たな学部学科構成の設置と申請準備および対応する教員組織・配置の準備
- (2) 教育専任教員の状況調査と教育効果の評価および改善案の検討
- (3) 教員組織の点検・評価の仕組みの構築とそれに基づく行動計画方針の具体化
- (4) 教員の教育評価の実施と評価結果に基づく教育活動の改善案の検討

- (5) 教員自己点検・評価に基づいた、教員の活動の評価・改善の継続的な実施
- (6) 多様な教育内容へ対応するために実務家教員の採用、外国人教員採用の検討

### 2-3 学部における教育

- (1) DP・CP およびシラバスの学生への周知徹底とそれに基づく履修指導の実施
- (2) シラバス記載内容と授業実施内容との整合性の全学的な点検・評価
- (3) 成績評価、単位認定の適切な実施に向けた点検と評価、改善
- (4) CAP 制における単位数の適正化とその運用の実質化
- (5) 学位課程内の各種教育プログラムの実施状況の評価と改善
  - ① スーパーサイエンス特別専攻の教育プログラムの見直し
  - ② JABEE（日本技術者教育認定機構）教育プログラムの点検・評価
  - ③ Stop the CO<sub>2</sub>教育プログラムの見直し
  - ④ 文部科学省認定プログラムの推進とデータサイエンス・AI 先進大学に向けての教育の充実
  - ⑤ SDGs 教育プログラムとしての新規科目（SDGs 概論、PBL、インターンシップ 等）の設置推進
  - ⑥ 企業と連携した全学的キャリア教育体系、就業体験（インターンシップ 等）、プロジェクト学習の計画策定と年度内の試行的実施

### 2-4 大学院における教育

- (1) 大学院の専攻構成・カリキュラムの見直し（大学院改革推進プロジェクトの実行）
- (2) 大学院生の学内研究所活動への参画による研究活性化策の策定と推進（研究推進機構と連携）
- (3) 大学院の産学連携教育の推進
- (4) 大学院生の就職対策強化策の策定
- (5) 大学院の各種審査・選抜基準（論文審査基準、入試選抜基準等）の見直し、英文表記整備および学生等への明示推進
- (6) 英語による授業増加計画の策定

### 2-5 学生の受け入れ

- (1) 入学者選抜統括委員会の円滑な運用と自己点検評価の実施
- (2) 高校新指導要領に対応した選抜方式・入試作問の検討
- (3) 高校新科目「情報Ⅰ・Ⅱ」への対応として、高校側の意向および他の私立大学の動向の調査実施
- (4) 合理的配慮を必要とする受験生について対応策の策定と公表
- (5) 入学基本方針検討ワーキンググループの運用と点検・評価
- (6) オンラインを活用した入学前教育の強化と実施状況評価と改善
- (7) 入学定員超過率の厳格管理の継続的推進

## 2-6 教育組織

### 2-6-1 基礎・教養教育センター

- (1) 主体的学びにつながる動機付け教育、および学生の力を引き出し伸ばす教育の見直し
- (2) 基礎教育面からの教育改革ならびにオンライン教育・学修の活用の共有と充実
- (3) 入学前教育の拡大と充実

### 2-6-2 図書館

- (1) 学生の自主的な学修活動・意欲的活動を支援するための資料・サービスの強化
- (2) 地域における知的情報拠点としての役割の強化
- (3) 教育研究・学修活動のニーズに対応した学術情報資源ナビゲーションシステムおよび研究学修環境の維持・改善
- (4) 教育研究分野と関連性の高いメディアコンテンツの整備
- (5) オンライン教育・学修のための学術・学修情報の整備と利用促進（学生の読書習慣促進含む）

### 2-6-3 情報教育研究センター

- (1) 全学的AI教育、ICT教育拠点として体制整備
- (2) 先進的オンライン教育・DX活用教育の推進
- (3) 数理・AI・データサイエンス教育の実施および支援強化
- (4) 研究部門充実と成果評価、学内連携研究の推進
- (5) ITを活用した教育・研究シンポジウムの開催

### 2-6-4 教育開発センター

- (1) 3つのポリシーに基づく教育に関連したFDの企画・実施
- (2) FD、アンケートを中心としたオンライン教育の検討
- (3) 教育力向上のためのFDプログラム実施・受講状況改善
- (4) 基礎教育支援の状況調査・評価と改善案の実施
- (5) リカレント・リスキリング教育（オンライン含む）の体制検討と部分運用

### 2-6-5 国際センター

- (1) グローバル化教育としてのTOEIC受験者増・得点向上のための教育実施と評価
- (2) 国際交流促進、特に学術交流協定の促進と協定校との関係強化
- (3) 国際的なシンポジウム・講演会の企画・実施（60周年国際シンポジウム等）
- (4) 英語版大学ホームページの充実による外国向け情報発信の強化
- (5) 留学生の多様な受入れ体制の整備・充実による受入れ留学生増加の検討
- (6) English Loungeの充実と利用学生数増加策の検討
- (7) GAA(Global Access Asia)等の海外オープン教育リソースの活用促進

### 2-6-6 教職教育センター

- (1) 教職教育の質保証PDCAサイクルの点検と改善
- (2) 教職教育のFDテーマの検討と公表
- (3) 教職課程の達成度評価基準の再検討
- (4) 教職課程自己点検評価のスケジュールならびに作業工程の再検討と報告書作成

### 2-7 教育環境

- (1) 教室等の教育施設・設備の現状調査と評価および改善
- (2) 教育改革にそった教育研究施設・設備の整備方針・計画の策定
- (3) 教育環境に関する学生満足度調査の実施
- (4) 耐震化推進に伴う新施設の建設（実験実習棟の建設）

## 3. 学生支援

### 3-1 学生指導とサービスの向上

- (1) 学生総合支援統括委員会及び同運用会議の設置によるシームレスな学生支援体制の整備
- (2) 学生支援方針の策定・公開
- (3) 障害のある学生の修学支援の充実（「学生総合支援統括委員会」体制での合理的配慮の決定と実行）および「学生総合支援統括委員会」における性的マイノリティ学生の支援体制の整備
- (4) コロナ禍によりダメージを受けた課外活動の支援（学生組織との連携による支援）
- (5) 学生総合支援統括委員会との連携による学生相談室、健康管理室、学生サポート室でのポストコロナ期における学生相談・学修支援の強化
- (6) 全学生の定期的面接実施に基づく学生支援策の実行
- (7) 退学者抑制対策の具体的な立案と組織的運用の推進

### 3-2 就職支援

- (1) 就職率の向上、離職率の低減化策の検討
- (2) 就業力育成支援の推進（インターンシップ、産学連携プログラムへの参加学生増加に向けた支援体制強化、学生のキャリア力の向上と評価、教職員のキャリア支援に関する意識・活動の向上 等）
- (3) キャリア支援施策の見直しと新施策の検討
- (4) 企業との情報交換会の定期的な実施
- (5) 新規就職先として地方公務員の開拓
- (6) 卒業生へのアフターケアの強化（進路未決定者・転職希望者への支援を含む）

## 4. 研究

### 4-1 研究推進

- (1) 社会的ニーズに対応した研究成果を創出する研究所組織の活性化
- (2) Society5.0等を考慮した重点研究分野における戦略的研究領域の策定
- (3) 戦略的研究費配分の運用
- (4) 外部資金獲得支援体制の強化
- (5) 研究業績表彰制度の新設と運用
- (6) 60周年記念研究シンポジウムの開催と研究推進機構15周年記念誌の発刊
- (7) 地域課題対応研究計画の推進
- (8) 研究広報の強化と研究のオープン化の推進
- (9) 大学発ベンチャーの支援強化計画の検討

### 4-2 研究コンプライアンス

- (1) 研究コンプライアンス強化策の継続実施と問題点改善
- (2) 研究不正行為防止啓蒙活動の継続実施と実施上の問題点改善
- (3) 学生への研究倫理教育の継続実施と理解度評価の仕組みの策定
- (4) 研究インテグリティの確保に関する情報収集と運用計画策定

## 5. 地域連携・貢献

- (1) 地域連携・貢献センターによる教職員、学生の活動支援およびセンターの企画・調整・広報活動の強化
- (2) 神奈川県および県央地区自治体との地域連携、産学官民の異なる分野の連携強化
- (3) 地域の人材育成への協力推進（ITエクステンションセンターにおける地域生涯教育等）
- (4) 大学の人的・物的資源活用の推進（厚木市内5大学が連携した地域教育の実施、災害時対応等）
- (5) 地域の安全安心に向けた地域連携災害ケア研究センター活動の推進

## 6. 大学運営施策

### 6-1 大学運営

- (1) 学生本位主義をより鮮明にした諸施策の検討・実施
- (2) 適切な意思決定に資する運営体制の構築・推進（学長を中心とした教学ガバナンス体制の強化）
- (3) 継続的な18歳人口減少に対応する学部・学科体制の見直し、独自の優位性を保てる施策などの推進
- (4) 文部科学省等の新たな制度、施策への対応準備としての検討会設置と対応の検討（基幹教員、クロスアポイントメント、奨学金制度拡充、教育未来創造会議提言等）
- (5) 業務最適化プロジェクトの成果を反映した効率的な組織の検討と移行による経営力の強化

- (6) 全学的な SD の計画的実施の継続と研修内製化のための人材育成
- (7) リモートワークに対応する勤務形態の整備と帳票電子化を志向した業務体制の管理・運営
- (8) 学園創立 60 周年（2023 年）に向けて具体化された地域連携施設等の建設、その他検討事項の実施
- (9) ICT システムセンターを中心としたセキュリティ保護を含む全学的インフラ整備の継続的推進
- (10) 全学的な危機管理体制の整備（多様化する危機要因の分析、耐震化率 100%を含む災害に強いキャンパスの推進）
- (11) 監事、監査室等による監査体制の充実強化および三様監査の連携強化とコンプライアンス体制の充実強化
- (12) ホームカミングデーの充実および同窓会との連携強化（学園創立 60 周年の企画策定を含む）
- (13) 省エネルギー化およびエコ活動の推進

## 6-2 財務

- (1) 財務分析に基づく収支構造の継続的な見直しと資源配分最適化の実施
- (2) 学内 DX 推進に向けた適切な資源配分の検討
- (3) 60 周年記念事業や巨大災害に備えた施設整備等の諸施策展開に必要な金融資産の拡充
- (4) 収支均衡の確保と財務基盤の安定化に向けた予算配分方法の抜本的見直しおよび厳格な予算統制実施

## 6-3 広報

- (1) ホームページの充実と拡充
- (2) ターゲットを明確にした広報媒体の強化等戦略的広報の推進（インナーブランディング含む）
- (3) 神奈川県内高校および近隣都県高校との高大連携活動の強化
- (4) 進学アドバイザー体制・連携の強化
- (5) マスコミへのアプローチ強化
- (6) 女子中高生への理系進路選択に向けた情報提供の強化

## 6-4 IR・企画推進室

- (1) 継続が予測される 18 歳人口減少に対応できる戦略の策定に寄与する情報収集整理と分析体制の強化
- (2) エンrollment・マネジメント機能の強化と、AP に則った学生確保および適切な学生支援の充実
- (3) 学生支援のための学生データベースの充実と活用
- (4) 事業活動立案に寄与する情報収集および分析結果の副学長・学部長会議、理事会への提供促進

(以上)

※本個別事業計画は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響がほぼ終息していることを前提に策定した。感染拡大等の状況になった場合は計画を変更する場合もある。

\*用語：

- 1) 3つのポリシー：教育研究上の目的及び教学に関わる3つの方針（AP、CP、DP）
  - AP（アドミッション・ポリシー）：入学者受入れの方針
  - CP（カリキュラム・ポリシー）：教育課程編成・実施の方針
  - DP（ディプロマ・ポリシー）：卒業認定・学位授与の方針
- 2) FD（ファカルティ・ディベロップメント）：教員が授業内容・方法を改善向上させるための組織的な取組
- 3) SD（スタッフ・ディベロップメント）：職員（事務職員、教員や学長等の大学執行部、技術職員等）が大学等の運営に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させるための取組
- 4) PBL（Project Based Learning）：課題解決型学習